

**for next** 株式会社



# OUR PURPOSE

子どもたちの港になり、教育支援の帆をつくり、企業の風となる

代表取締役 草場 勇介 CEO  
KUSABA YUSUKE

for next generations

～すべては次の世代のために～

私の長女が生まれた2010年6月に  
for next groupを設立いたしました。

子どもたちが大人になったとき、より良い社会になっているよう、  
教育を通じて日本に生まれたことを誇りに思える社会にする。

この思いがすべての原点であり、for next group創業の精神です。



# ABOUT US

for next 株式会社は「子どもたちの港になり、教育支援の帆をつくり、企業の風となる」をパーパスに掲げ、活動している教育事業の総合グループ会社です。子どもたちが大人になったとき、より良い社会になっているよう、教育を通じて日本に生まれたことを誇りに思える社会にすることを目指しています。

会社名	for next株式会社
設立	2010年6月11日
所在地	千葉県柏市松葉町2-15-13 クキタビル1F
電話番号	04-7136-7770
役員	代表取締役 草場勇介
従業員数	27名
事業内容	小中高生向け学習塾「正学館 北柏校」の運営 未就学児・小学生向けSTEAM教室「zunōw」の運営 NPO法人「キャリアbase」の運営 経営コンサルティング事業

顧問	
攝津浩義	株式会社ダイバーシティ代表取締役 元大塚製薬 代表取締役副社長
松田俊明	株式会社コロコロ代表取締役 元楽天、オールアバウト事業責任者
山下洋輔	元柏市議会議員
中島玲史	第一中法律事務所 弁護士
奥山琢磨	仲田会計事務所 公認会計士

# OUR HISTORY

## — 教育事業の確立 —

### 2012

#### 個性やペースを尊重した「学びの個別最適化」

for next groupは2012年2月に、小中高校生向けの学習塾「正学館 北柏校」を開設。子どもたち一人ひとりの個性やペースを尊重した「学びの個別最適化」を根幹に置き、地域1番の学習塾として延べ1,000名以上の子どもたちの自ら学ぶ意欲や習慣づくりを支えてきました。自ら考える力を養い、ジリツ(自立と自律)を支える学びの場として、教育事業の土台を育んでいます。

### 2021

#### 「教科教育」と「STEAM教育」の融合

アソビとマナビで探究する次世代型教室として「zunōw」を2021年8月に新たに開設、STEAM教育による分野横断的な学習・体験の機会を提供しています。長年の学習塾経営で培ってきた「教科教育」のノウハウをいかに「STEAM教育」と融合させ、子どもたちの溢れる可能性や才能をより一層引き出し、活性化させていける独自の教育モデルを創り上げることは、我々の1つの使命だと考えています。

### 2021

#### 若者の「望まない孤独」をなくす

2021年にNPO法人キャリアbaseを設立しました。「学校と社会の架け橋に ～いきる力をともに育む～」をスローガンに、これまでに延べ10,000名を超える高校生に向けて、キャリア教育・就労支援・居場所づくりを行ってきました。キャリアbaseのミッションは「生徒一人ひとりが自分らしく生きることを選択し、前向きに社会へと旅立つ支援をすること」です。子どもたちはそれぞれにさまざまな背景を持っています。誰もが明るく前向きに、自ら積極的に社会に参画していけるよう、支援の輪を拡げていきます。



# 事業紹介

# OUR STATEMENT

## 人生を《じぶんらしく》生きる

for next groupは、子どもたちが自分の人生を《じぶんらしく》生きるためのサポートをさまざまな事業を通じて行っています。

子どもたちが《じぶんらしく》生きていくために、自らを受け入れ《じぶんらしさとは何か？》を前向きに悩めること、そして客観的に自己を分析できることで、自分の「強み」を見つけていけることが、とても大切です。

しかし《じぶんらしさ》を見つけるということは、大人にさえ容易なことではありません。

子どもたちの日常に、それぞれのペースで《じぶんらしさ》を見つけていけるきっかけや時間があることは、とても重要なことだと私たちは考えています。

# OUR STATEMENT

## 人生を《じぶんらしく》生きる



そのきっかけづくりとして

- 「探究し、没頭する」 知的な好奇心を育むこと
- 「向き合い乗り越える」 主体的な学びを習慣化させること
- 「安心して挑戦、前進する」 自己肯定感や自信の醸成をしていくこと

3つの指針でカリキュラムを設計しています。

- 「好き！」をトコトン探究し、アソブのようにマナビに没頭する場としてのzuno。
- 「できない!」「ニガテ!」にも挑戦し、自ら学ぶ習慣を身に付けていく正学館。
- 子どもたちの社会への旅立ちを優しくつなぐ「架け橋」となり、いつでも戻ってくるのできる居場所を創るキャリアbase。

3つの事業を通じて、子どもたちが自らの力で成長していき、自信をもって社会とつながり旅立つことができる支援を続けていきます。



projects  
policies

# 3

## OUR STATEMENT

人生を《じぶんらしく》生きる

**SG** 正学館  
SEIGAKU

### 「自ら学ぶ習慣を」

一人ひとりの個性やペースを尊重した「学びの個別最適化」で子どもたちの自ら学ぶ意欲や習慣づくりをサポート。自ら考える力を養い、ジリツ(自立と自律)を支える**学びの場**。

**ZUN**  **OW**

### 「アソビとマナビで探究を」

アソビとマナビで探究する次世代型教室「zunOw」。STEAM教育をベースとした分野横断的な学習を軸に、子どもたちが本来持つ好奇心を大切に育み、仲間と共に“生きる力”を磨く、**子どものためのコミュニティ**。

 **career base**  
キャリアベース

### 「学校と社会の架け橋に」

高校生を中心とした若者に向けて、社会に出る準備となるキャリア教育・個別就労支援・居場所支援を展開。子どもたちをいつでも温かくお迎えし、社会へ優しく送り出す、安心を補給する**みんなの「港」**。



# SG 正学館

SEIGAKU

## 「自ら学ぶ習慣を」

私たちは、「学力」 = 「自ら学ぶ意欲」 × 「習慣化」と考えています。

正学館は子供たちが自ら考える力を養い、  
ジリツ(自立と自律)していくことを支える学習の場です。

一人ひとりの個性やペースを尊重した「学びの個別最適化」で  
子どもたちの自ら学ぶ意欲や習慣づくりをサポートしていきます。



小学生は、まず宿題を通じて良い学習習慣をつくり、  
自らの知的好奇心で学校の学びからプラスαを引き出す力を  
身につけていくことを大切にしています。

中学生や高校生にとって、定期テストや受験は「ジリツ(自立)」する  
最大のチャンスです。目標を明確にして自分自身と向き合い、  
子どもたちが自分の力で乗り越えていける支援をしています。

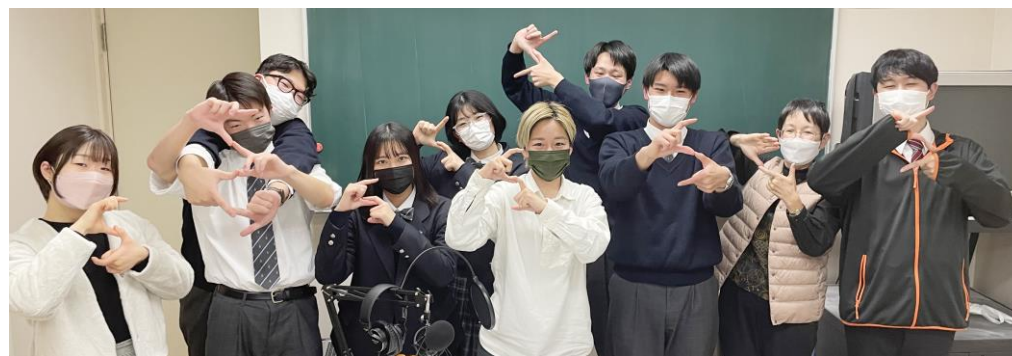


## 「アソビとマナビで探究を」

zunōwでは、子どもたちに自分の「好き」をトコトン探究する場を提供し、アソブようにマナビに没頭する時間をお届けします。

zunōwでのマナビのカタチはさまざまです。

大好きな仲間と一緒に没頭・探究しコミュニケーションを深めていく中で、共創する楽しさを自然と体感していきます。また、時にはひとりの世界でトコトン夢中になることも同じくらい大切です。一人ひとり異なる「やりたいこと」や「ペース」を大切に、子どもたちが安心して自分らしくあれる学びの場所を創造し、子どもたちの可能性を大きく育てていきます。



## 「学校と社会の架け橋に」

キャリアbaseが目指すもの、それは生徒一人ひとりが自分らしく生きることを選択し、前向きに社会へと旅立っていく、その支援をすることにあります。

学校から社会へ。子どもたちにとっては一番の環境変化がここにあります。その変化に、強く、しなやかに対応してほしい。

そのために私たちは、自己理解から職業理解まで、さまざまなプログラムでキャリア教育を実践するとともに、一人ひとりに寄り添った就労支援を実践しています。子どもたちはそれぞれにさまざまな背景を持っています。誰もが明るく前向きに、自ら積極的に社会に参画していけるように。いつでもひらかれた「おかえり」と「いってらっしゃい」のある港のような存在となれるよう、活動を続けていきます。

# 保護者の皆さまのパートナーとして 「私たちが大切にすること」

勉強の習慣づけ。勉強のサポート。

これが「我が子の」となると、途端に難しくなるものです。  
頭を抱えるこの「悩み」に伴走し、一緒に解決していきます。

私たちはお預かりするお子さまだけでなく、保護者の  
皆さまのサポーターでもあります。

社会経験豊富なスタッフによる教育指導は、  
私たちfor next groupの他にない強みの1つです。

お一人で悩まず、一緒に乗り越えていくプロがいる  
第3の居場所として私たちを頼ってください。

「成果を出しに行く」  
姿勢

それぞれの学力や  
性格・個性を見極め  
良き成功体験を  
積み重ねていける  
学習ステップの  
丁寧な組み立て

成長や変化を  
実感していただける  
細やかな  
コミュニケーション

受験情報など  
プロとしての  
適切な情報提供

教育指針や授業の意図  
学びの目的、課題を  
日々共有できる  
機会や信頼関係の構築

お子さまへの  
問いかけアドバイスや  
定期的な面談の実施  
など様々な  
カタチのサポート

子どもたちと  
常に  
「ポジティブな姿勢」  
で向き合うこと

子どもたちが  
安心して  
自分の考えや思いを  
アウトプットできる  
対話の場づくり

子どもたちが  
自らの強みや課題を  
見つけながら成長し、  
自信を持って  
学校や社会と  
つながっていける支援